

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

10

2026 OCT

第281号

学校長からのメッセージ

9月の特別活動では、「おもしろい大人がやってくる!」と題し、京都大学の塩瀬隆之教授をお招きしました。「はたらくことと遊ぶこと」をテーマに、「はたらく」や「学ぶ」の対義語・類義語を出し合い、参加者全員で思考を深める貴重なひとときとなりました。

「遊ぶこと」と聞いて、ふと自分の小学校の卒業式を思い出しました。当時の卒業式では、全校生徒の前で将来の夢を宣言する時間があり、私は「将来は小学校の先生になって、最強の勉強と遊びを教えます!」と大声で宣言したのです。「遊び」と聞くと、どこか不真面目に聞こえるかもしれませんが、鬼ごっこやドッジボールといった日常の遊びを通して、私たちは自然と対話し、ルールを工夫し、人間関係の築き方や探究する面白さを学んできたはずで、あたたかい指導者や伴走者に見守られた「遊び」は大変奥が深く、人の健やかな成長や深い学びの土台につながっていると、私は信じています。

その後、中学生時代、塾の先生から「人に教えるのが上手だね」と褒められたことが嬉しく、高校時代は夢に向かって勉強や部活動、仲間と過ごす日々明け暮れました。しかし、大学受験では目標だった教育学部に入れず、人生で大きな挫折を味わうこととなります。けれども、当時は絶望に思えたその挫折こそが、「子どもと関わる道は、小学校の先生だけじゃない」という新たな視点を与えてくれました。結果として社会福祉の道へと進み、やりたいことへのアプローチには多様な選択肢があり、いろいろな角度から子どもたちを支えられるのだと身をもって体感したのです。そして今、教育と福祉が重なるYMCAでの働きは、まさに私の適職だと実感しています。

ところで、みなさんは「自立」と聞いて、どんな状態を思い浮かべるでしょうか。「誰にも頼らず、自分一人の力で何でもできること」をイメージする人が多いかもしれません。私自身もかつてはそう思っていました。しかし、人生の転機を思い返せば、一人の力だけで達成できたことなど一つもなく、いつも誰かに頼り、相談し、支えられながら一歩を踏み出してきました。それは現在も変わりません。塩瀬先生は、「学習者の自立とは、誰にも頼らないことではなく、頼れる相談者を増やすことだ」と云われました。この言葉は、私の胸に強く、深く響きました。

一人で頑張る必要はありません。YMCAでの多様な活動や出会いを通して、みなさんの中に新しい気づきや視点が生まれ、心がワクワクするような学びと「頼れる相談者」とのあたたかいつながりが広がっていくことを、心から願っています。

(コヘレトの言葉 4章 9節・10節前半・12節後半)

ひとりよりもふたりが良い。共に労苦すれば、その報いは良い。

倒れれば、ひとりがその友を助け起こす。三つよりの糸は切れにくい。

(校長 池田 博人)





「だから、明日のことまで思い悩むな。」

(マタイによる福音書 6 章 34 節)

今月の聖句

「おれにとって一般受験はムリゲー」、「こんなんしている時点でマケカク」。進路について話している時に気になった生徒の言葉だ。「ムリゲー」とは「頑張ってもクリアできないゲーム」を意味する。「マケカク」は「ゲームの負けが確定していること」を簡略化したもの。どちらも、ネットのゲームユーザーの間から生まれたスラング(特定の流行言葉)である。しかし、今回その言葉が意味するのはゲームではなく、自分たちの人生についてだ。進路や将来の話の中でこれらの言い回しを聞くと、自分はいつも「本当に?」「なぜわかる?」とその生徒にたずねたくなる衝動にかられる。

かくいう自分も、小さいころから没頭していたサッカーを高校でも続けるか悩んでいた時、「どうせ自分はこの程度のプレイヤーなのだから」と決めつけて、将来を悲観していたことを思い出す。そういった自分の考え方に転機が訪れたのは、本を通して魅力的な先人たちに会ったこと。高校時代、小説を中心に様々な本を熱中して読みふける生活が続ける中で、「偏差値を上げる勉強」ではない「学び」の面白さに目が開け、気づけば大学に10年以上いることとなった。

イエスが残した有名な言葉の一つに、今回の聖句がある。これは「明日のための準備をするな」や「将来のことは軽視してもよい」と勧めているわけではない。「今のことだけ悩めばよい」とも異なる。まして、「悩むなんて意味がない」などと言いたいわけでもない。この言葉は、将来や未来のことは「神の領分」であり、それを人間があらかじめ「わかっている／知っている」ものとして振る舞うことは、聖書が禁じている偶像崇拜(神でないものを神として拝むこと)に他ならない、と戒めているのである。人生は謎に満ちていて、一度も思い描いたことのない未来に、いつの間にか立たされている。思いがけない出会いが、かつて知りもしなかった地へ自分を連れていく。「人生には、そういった不思議さもあるんだよ」と「マケカク人生」の信奉者に伝えたい。



「今月の聖句」 自己紹介 森山 徹(もりやま とおる)

Y チャレンジコース 2 年次の担任と、Y リンクコースの担当をしています。

好きなことは、読書(マンガ含)とスポーツ観戦と休日の二度寝。聖書の言葉や物語の魅力を少しでも共有できればと思っています。